春日部市議会会議規則の一部を改正する規則

春日部市議会会議規則（平成17年議会規則第1号）の一部を次のように改正する。

(1) 次の表中、改正前の欄の下線が引かれた字句をそれに対応する改正後の欄の下線が引かれた字句に改める。

改正後	改正前
<p>(会議時間)</p> <p>第9条</p> <p>2 議長は、必要があると認めるときは、会議時間を変更することができる。ただし、出席議員<u>4人</u>以上から異議があるときは、討論を用いないで会議にはかって決める。</p> <p>(動議成立に必要な賛成者の数)</p> <p>第16条 動議は、法又はこの規則において特別の規定がある場合を除くほか、他に<u>3人</u>以上の賛成者がなければ議題とすることができない。</p> <p>(先決動議の表決の順序)</p> <p>第18条 他の事件に先立って表決に付さなければならぬ動議が競合したときは、議長が表決の順序を決める。ただし、出席議員<u>4人</u>以上から異議があるときは、討論を用いないで会議にはかってきめる。</p> <p>(一括議題)</p> <p>第35条 議長は、必要があると認めるときは、2件以上の事件を一括して議題とすることができる。ただし、出席議員<u>4人</u>以上から異議があるときは、討論を用いないで会議にはかってきめる。</p> <p>(発言時間の制限)</p> <p>第57条</p> <p>2 議長の定めた時間の制限について、出席議員<u>4人</u>以上から異議があるときは、議長は、討論を用いないで会議にはかって決める。</p> <p>(起立による表決)</p> <p>第70条</p> <p>2 議長が起立者の多少を認定しがたいとき、又は議長の宣告に対して出席議員<u>4人</u>以上から異議があるときは、議長は、記名又は無記名の投票で表決をとらなければならない。</p> <p>(投票による表決)</p> <p>第71条 議長が必要があると認めるとき、又は出席議員<u>4人</u>以上から要求があるときは、記名又</p>	<p>(会議時間)</p> <p>第9条</p> <p>2 議長は、必要があると認めるときは、会議時間を変更することができる。ただし、出席議員<u>5人</u>以上から異議があるときは、討論を用いないで会議にはかって決める。</p> <p>(動議成立に必要な賛成者の数)</p> <p>第16条 動議は、法又はこの規則において特別の規定がある場合を除くほか、他に<u>4人</u>以上の賛成者がなければ議題とすることができない。</p> <p>(先決動議の表決の順序)</p> <p>第18条 他の事件に先立って表決に付さなければならぬ動議が競合したときは、議長が表決の順序を決める。ただし、出席議員<u>3人</u>以上から異議があるときは、討論を用いないで会議にはかってきめる。</p> <p>(一括議題)</p> <p>第35条 議長は、必要があると認めるときは、2件以上の事件を一括して議題とすることができる。ただし、出席議員<u>3人</u>以上から異議があるときは、討論を用いないで会議にはかってきめる。</p> <p>(発言時間の制限)</p> <p>第57条</p> <p>2 議長の定めた時間の制限について、出席議員<u>3人</u>以上から異議があるときは、議長は、討論を用いないで会議にはかって決める。</p> <p>(起立による表決)</p> <p>第70条</p> <p>2 議長が起立者の多少を認定しがたいとき、又は議長の宣告に対して出席議員<u>5人</u>以上から異議があるときは、議長は、記名又は無記名の投票で表決をとらなければならない。</p> <p>(投票による表決)</p> <p>第71条 議長が必要があると認めるとき、又は出席議員<u>5人</u>以上から要求があるときは、記名又</p>

は無記名の投票で表決をとる。

(簡易表決)

第76条 議長は、問題について異議の有無を会議にはかることができる。異議がないと認めるときは、議長は、可決の旨を宣告する。ただし、議長の宣告に対して、出席議員 4人以上から異議があるときは、議長は、起立の方法で表決をとらなければならない。

(表決の順序)

第77条

2 同一の議題について、議員から数個の修正案が提出されたときは、議長が表決の順序を決める。その順序は、原案に最も遠いものから先に表決をとる。ただし、表決の順序について出席議員 4人以上から異議があるときは、議長は、討論を用いないで会議にはかって決める。

は無記名の投票で表決をとる。

(簡易表決)

第76条 議長は、問題について異議の有無を会議にはかることができる。異議がないと認めるときは、議長は、可決の旨を宣告する。ただし、議長の宣告に対して、出席議員 5人以上から異議があるときは、議長は、起立の方法で表決をとらなければならない。

(表決の順序)

第77条

2 同一の議題について、議員から数個の修正案が提出されたときは、議長が表決の順序を決める。その順序は、原案に最も遠いものから先に表決をとる。ただし、表決の順序について出席議員 5人以上から異議があるときは、議長は、討論を用いないで会議にはかって決める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。